

岐阜県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

入試概要

岐阜県の公立高校入試は、第一次選抜と第二次選抜が行われます。
第一次選抜では、全ての高校の学科(群)で【標準検査】を実施します。
また、学科等の専門領域における実技能力や部活動等の実績を重視して選抜する場合【標準検査】に加えて【独自検査】を実施する学科(群)もあります。

第二次選抜は、第一次選抜の合格者が定員に満たない場合に実施されます。

	出願期間	志願先変更	入試日	発表日
第一次選抜	2/19～25	2/26～3/3	3/10 (面接・実技 3/10 or 3/11)	3/18
第二次選抜	3/19	3/20	3/23	3/25

※ 通学区はありません。全ての県立高校について県内全域からの出願が可能です。

第一次選抜

県内全ての全日制および定時制課程の公立高校で実施します。

[出願について]

1校・1学科について出願を行います。同一校の他の学科に限り、第2志望及び第3志望とすることができます。(音楽科及び美術科を除く)

Aに示す分野に属する学科に出願した場合、
同一校のBに示す分野に属する学科を第2志望・第3志望とすることが可能。

A…普通, 総合, 農業, 工業, 商業, 生活産業, 情報, 理数, 音楽, 美術

B…普通, 総合, 農業, 工業, 商業, 生活産業, 情報, 理数

[検査について]

複数の学科(群)を併設する学校では、学科(群)ごとに検査の組み合わせが異なる場合があります。

[A校] 普通科—標準検査のみ実施, その他の学科—標準検査と独自検査のいずれも実施

[B校] 普通科・その他の学科—標準検査のみ実施

[C校] 普通科・その他の学科—標準検査と独自検査のいずれも実施

また、標準検査では学力検査のほかに面接や実技検査を実施する学科(群)があります。学科(群)を併設する学校では、学科(群)ごとに面接・実技検査有無が異なる場合があります。

独自検査・標準検査

第一次選抜の出願者のうち、独自検査は希望者のみ受検します。独自検査を実施する学校・募集枠・検査内容は事前に公表されるので、受検を希望する学校についてはあらかじめ確認しておきましょう。

* 募集人員の割合 *

独自検査は当該学科の入学定員の30%を上限として各校が定めます。

* 検査の内容 *

標準検査 (出願者全員)	国語・数学・英語・理科・社会	各50分	各100点
	※面接や実技検査を実施する学科(群) 傾斜配点を行う学科があります		
独自検査 (希望者のみ)	面接, 小論文, 実技検査, 自己表現 から各校が決定		

* 調査書 *

調査書の評定の取り扱いは以下のとおりです。

中1 (9教科×5段階 45点)	45点満点	} 合計 180点満点
中2 (9教科×5段階 45点)	45点満点	
中3 (9教科×5段階×2倍)	90点満点	

* 独自検査の要件 *

主に、体育的活動・文化的活動、学科への適性があげられます。実施する学科(群)ごとに詳細が異なりますので、希望者は確認しておきましょう。

選抜方法

標準検査のみ実施する学科の場合

調査書の記録および標準検査の結果に基づいて総合的に審査し合格者を決定。調査書と学力検査の比率は、7:3, 6:4, 5:5, 4:6, 3:7 から、各校が定める。

標準検査および独自検査を実施する学科の場合

ア. 独自検査を受検した者について、調査書の記録、標準検査および独自検査の結果に基づいて総合的に審査し合格者を決定。

イ. 上記アによる合格者を除いた全ての受検者を対象に、調査書の記録および標準検査の結果に基づいて総合的に審査し合格者を決定。調査書と学力検査の比率は、7:3, 6:4, 5:5, 4:6, 3:7 から、各校が定める。

